

スタア誕生 (1937)

A STAR IS BORN

メディア 映画

ジャンル ミュージカル

製作国 アメリカ

色彩 B&W

時間 111分

初公開日 1939/04

公開情報 劇場公開

【解説】

オールドファンは本作に軍配を上げ、戦後生まれはJ・ガーランド版こそと言い張るが、いずれにしても、W・ウェルマン監督がこの卓越した原案を書き下ろさねば、映画史に残る傑作二本は生まれなかった（32年の「栄光のハリウッド」にインスパイアされているとはいえ）。妻にした女優の卵（リメイクではジュディを活かしてミュージカル女優）が、スターダムに上り詰めるのとは逆に、凋落していくスター俳優の夫。ともすれば安っぽい感傷に陥りそうな話だが、それを免れるのはひとえに主演側の抑制した演技による。殊に夫を演じるF・マーチがいい。彼が最期、入水自殺する夕陽の海の赤は、初期の不安定なテクニカラーとはいえ、55年版を上回る鮮烈な発色で美しかった。ジュディ版と特に異なる点は、ゲイナーの少女時代の挿話がある所だろう。祖母に励まされ、雪深い故郷を去るシーンの白がまた素晴らしい。

【クレジット】

監督	ウィリアム・A・ウェルマン	William A. Wellman
製作	デヴィッド・O・セルズニック	David O. Selznick
脚本	ドロシー・パーカー	Dorothy Parker
	アラン・キャンベル	Alan Campbell
	ロバート・カーソン	Robert Carson
	デヴィッド・O・セルズニック	David O. Selznick
	ウィリアム・A・ウェルマン	William A. Wellman
	リング・ラードナー・Jr	Ring Lardner Jr.
	バッド・シュールバーグ	Budd Schulberg
	ジョン・リー・メイヒン	John Lee Mahin
撮影	W・ハワード・グリーン	W. Howard Greene
音楽	マックス・スタイナー	Max Steiner
出演	ジャネット・ゲイナー	Janet Gaynor
	フレドリック・マーチ	Fredric March
	アドルフ・マンジュー	Adolphe Menjou
	メイ・ロブソン	May Robson
	アンディ・ディヴァイン	Andy Devine
	ライオネル・スタンダー	Lionel Stander
	オーウェン・ムーア	Owen Moore
	ペギー・ウッド	Peggy Wood
	エドガー・ケネディ	Edgar Kennedy

J・C・ニュージエント

J.C. Nugent

グイン・“ビッグ・ボーイ”・ウィリアムズ Guinn 'Big Boy' Williams